

平成25年度  
海老名南地域包括支援センター  
介護者教室実施報告書

2013年11月17日

海老名災害ボランティアネットワーク

1 実施日及び実施場所

日 時：平成25年11月17日（火）10時30分～12時  
場 所：海老名市総合福祉会館 1階 元気クラブ

2 参加者

高齢者介護者等：11名

3 講演内容

防災力を身につけよう ～災害から高齢者を守る工夫～

4 講演者

海老名災害ボランティアネットワーク 江間・井上

5 講演概要

【災害ボランティアネットワークについて】

ボランティア活動について、ボランティアと地域とのトラブルについて、トラブル解消のためにボランティアセンターを設立した、センターも地域住民が設立すべきこと、海老名災ボラの設立について、海老名災ボラの活動について、海老名災ボラの目指すこと等を江間がはなした。

【防災力を身につけよう】

災害・防災・防災力について、防災力として、住宅のある土地の状況を認識しておくこと、住宅の中に安全地帯を作ること、生活方法の改善について江間が話した。

土地の状況については、崖の付近や河川の付近、田んぼの埋め立て地等には注意が必要であること、安全地帯については、位置・規模・作り方を、生活方法の改善には、持たない生活を心がけること、うっかり火災の危険要素をチェックすること、日用品を1ヶ月分流通備蓄を心がけること、食料の流通備蓄を進めること、高齢者の状態に応じた改善を行うこと、日頃から隣近所とのつきあいが重要であることを話した。



【自分を守るために...常備薬の取り扱い ～薬剤師の視点から】

東日本大震災の時、大船渡市で薬剤の管理配布等の支援を行った状況を話し、高齢者の薬管理について、薬保管上の注意点について、災害時の持ち出し注意点について井上

が話した。

高齢者の薬管理については、服薬上の注意点について、薬の副作用について、薬の相互作用について、高齢者の習慣に起因する副作用について、高齢者の副作用について、薬の飲み合わせについて、誤服用について、高齢者の薬による事故について、服薬支援としての飲み忘れ防止工夫への支援方法について、介護者の注意点としてカプセルの分解や錠剤の砕き等の防止について、薬の飲み方についてを話した。



薬保管上の注意点については、冷蔵庫に置くこと、光の当たらない場所に置くこと、湿気に注意することを話した。

災害時の持ち出し注意点については、被災後3日間は薬剤の支援は困難なこと、1週間分の予備を残しておくこと、お薬手帳を必ず持ち出すこと、過去の災害時の事例、常備薬の取りそろえ方等を話して終了した。

## 6 考察

防災力を身につけようでは、内容が少し多すぎ、時間が足りなくなりましたが、必要なことは話せたのではと思う。アンケート結果から判断すると、日頃あまり気づかないでいることを話せたのかなと思う。

その面では良かったと思っているが、逆に、市民の方々の災害への備えに問題があるように感じた。防災用品を買い込み備蓄し、非常食を買い込み備蓄すれば事足りるように考えているように思った。減災が日頃の生活の中に入り込めていないようである。日頃の生活の中で減災が成り立つようにしていく必要があり、知らしめる方法を検討する必要があるように感じた。

常備薬の取り扱いでは、日頃聞けない話であり、参加者のにとって興味のある話であったと思う。高齢者にとって一番重要な薬の話であり、食べ物と薬の関係や薬の飲み方など、知らなかったでは済まされない問題である。時間があればこの辺について色々な食材と薬の関係についてもっと多くの話があったのではないかと残念に思う次第である。

また、災害救援ボランティアの活動知識としても必要なものと考えられ、災ボラ内部も高齢者を抱える会員や会員自体が高齢者でもあることから、薬の話を先ず災ボラ勉強会の一環として開催していく方向で検討していきたいと感じた。